



みなせなかどおり通信

2022年2月26日

TEL 080-5732-3942
fax 024-953-2895
nakajiryochi@rainbow.plala.or.jp

STOP PUTIN NOW

ロシアによる

NO WAR

ウクライナ侵攻に抗議します

STOP RUSSIA AGGRESSION

STAND
WITH
UKRAINE

2月27日(日)午前11時

郡山駅:ヨドバシカメラ前

@DAPPE_fukushima

.....
原発汚染水海洋放出に向けた「安全宣伝チラシ」は回収を！

11 団体が郡山市長・教育長に申し入れ 2/25



昨年末「ALPS処理水について知ってほしいこと」と言う経済産業省と復興庁のチラシが教育委員会を通さず小・中・高校に直接届けられた問題で、市長と教育長に対し配布中止と回収を求める申し入れが行われた。チラシは「ALPS処理水について知ってほしい3つの事」として「トリチウムは身の回りに沢山ある」「トリチウムの健康への影響は心配ありません」「取りのぞけ

るものは徹底的に取りのぞき大幅に薄めてから海に流します」と記述。副表題には「誤った情報に惑わされないために。誤った情報を広めて苦しむ人を出さないために」と書く始末だ。漁業者をはじめとする県民、原発事故被災者を愚弄し、さらなる「安全神話」を生み出すことに向かう表現だ。放射性物質が身の回りにあるからといって放射性物質の安全を意味しはしない。放射線被曝量は増えるほど健康影響は高まる。汚染水が含む核種、検査能力、分離技術、保管、海洋と漁業への影響などには触れていない。

この申し入れには、郡山5中 OBG 有志の会、郡山革新懇、郡山復興共同センター、これ以上海を汚すな市民会議、社会民主党県連・郡山総支部、郡山地方労平和フォーラム、退職教職員協議会郡山支部、県教組郡山支部と立憲、共産、虹とみどりの会の議員が参加した。汚染水海洋放出を許さないようさらに手を取り合いましょう。

経済産業省及び復興庁配布のチラシ回収要望の申し入れ書

郡山五中OB有志の会代表

郡山市革新懇代表

菅原信正

郡山市緑ヶ丘東八丁目 10-2

郡山復興共同センター代表

伊藤 洋

郡山市小原田 2 丁目 23-15

これ以上海を汚すな市民会議・郡山代表

郷田みほ

郡山市柏山 11

社会民主党福島県連合代表

狩野光昭

郡山市桑野 2-25-16

郡山地方労平和フォーラム議長 鈴木浩行

郡山市虎丸町 7-7

福島県退職職員協議会郡山支部代表

伊左治満治

郡山市静町 25-4

福島県教職員組合郡山支部支部長

佐藤禎仁

郡山市桑野 2-33-9

立憲民主党福島県第 2 区総支部

郡山市八山田 5-214 サルーテ II 103

郡山市議会議員 八重樫小代子

吉田公男

柳田尚一

飯塚裕一

日本共産党 郡山市議会議員
郡山市朝日 1-23-7

岡田哲夫
高橋善治

虹とみどりの会郡山市議会議員
郡山市朝日 1-23-7

蛇石郁子

下記の理由に基づき標記の件についてご検討していただきたく申し入れます。

記

昨年末「ALPS処理水について知ってほしいこと」と言う経済産業省と復興庁連盟のチラシが小・中学校、高校に直接届けられました。

そのチラシは「ALPS処理水について知ってほしい3つの事」を紹介していますが、一方的に安全性を記述しているのみで、私たちの不安、心配、危惧からは大きくかけ離れております。

具体的には「1、トリチウム(3重水素)は身の回りにたくさんあります」と記述していますが、放射性物質が身の回りにあるからといって放射性物質の安全を意味しません。

次に「2、トリチウムの健康への影響は心配ありません」と記述していますがこれについても被曝は量が増えるほど健康への影響が高まります。

さらに「3、取りのぞけるものは徹底的に取りのぞき大幅に薄めてから海に流します」と記述していますが、取りのぞかなければならないものは徹底的に取りのぞけるのか、それが可能なのか、そしてその検査能力はあるのか、今現在、大いに論議、疑問視されているところです。

これらの論議、疑問視されている点が多々あるのに対し、チラシの副表題は「誤った情報に惑わされないために。誤った情報を広めて苦しむ人を出さないために」なのです。

このような内容は、原発事故被災者、保護者、県民の感情を無視し、さらなる「安全神話」を生み出すことになる重大な問題だと思います。

以上のことから、各学校のチラシ送付と配布状況の早急な把握、配布の中止、配布済みの場合は回収するようお願い申し上げます。

また、チラシ配布について事前に首長や、教育委員会に知らせず行われたことに、不信感と困惑を抱かざるを得ません。この点につきましても、経済産業省及び復興庁に対して嚴重抗議をしていただきたいと思います。

戦争させない・9条守ろう！2.6 市民集会 菱山南帆子さん講演&リレートーク

菱山さんは「琉球列島でのミサイル基地拡大、大規模演習が強行され、コロナ禍でも自民党は改憲の動きを自粛せず、若手・中堅議員を実働部隊として全国で憲法集会を開く」「私たちは憲法を実践し、青年PT 立ち上げ、次世代に運動を引き継ぎ創意工夫し、改憲させないため大きな運動にしていく」と力強く語りました。「原発汚染水海洋放出」「津島原発訴訟」「中村哲さんと9条」「障害当事者の人権」「教育現場の現状」「県民健康調査の検証」「平和憲法を守る」など活動する県民 7 人がリレートーク。参院選に向けて、立憲民主党の馬場ゆうき議員のビデオメッセージの後、れいわ新選組応援団の増子さん、社会民主党福島県連合の遠藤幹事長、緑の党全国運営委員の高橋さん、日本共産党福島県議の神山さんが発言し、ふくしま県市民連合の根本仁幹事は「話し合いを大事にし、野党と市民の共闘を実現しよう」と訴えました。全発言とYoutube映像は『ミナセンなかどおり』のホームページから見ることができます。

原発汚染水を海洋投棄するな！毎月13日定例スタンディング、郡山駅前前に20人



◎「第15回 ミナセンなかどおり相談会」

■2月19日(土)午前10時～ 郡山医療生協多目的ホール(郡山市島)

◎「戦争させない！命を守ろう！ 郡山駅前街頭宣伝、署名行動」

■2月19日(土) 午後1時～ 郡山駅前西口交番前付近